

教訓に学び地域で備える みんなでももるプロジェクト



開催内容	
日時	平成28年10月28日
対象者	自治会
人数	約40人

【内容】各地域の連携強化のために、地域防災マップ作成の出前講座を開講	継続	1回目	【発信元】		
地域への出前講座（うぐいす区）			延岡河川国道事務所 調査第一課		
取組目標	(2)	(1)	(6)	地域防災マップ	
	(2)	(1)	(2)	(5)	防災訓練の取組
	(2)	(2)	(2)	(4)	勉強会の実施
	(2)	(2)	(2)	(5)	防災訓練取組支援
	(2)	(3)	(1)	(8)	水害教訓の伝承
			延岡市 消防本部 警防課 防災推進員		

【説明】H28年10月28日に地域住民からの依頼により、延岡河川国道事務所と延岡市 防災推進員で出前講座を行った。



延岡河川国道事務所
調査第一課 調査係長 長友

延岡市 消防本部
警防課 黒田 防災推進員

地域住民の防災意識の向上のため、出前講座を行いました。

コメント
今回の講話では、頻発する洪水や大きな被害を受けた平成17年台風14号の映像、鬼怒川の決壊を受けて全国的に取り組んでいる、水防災意識社会再構築ビジョンの取組や8/30に公表した想定最大規模の浸水想定区域図（地区の現状での浸水深）、タイムライン、防災マップの作成等について説明しました。
また消防本部からは、防災意識の高いうぐいす区の災害時での危険箇所や自主防災対策本部の立ち上げ方法について説明しています。



熱心に聞き入る住民たち

コメント
うぐいす区の役員を始め、平日の昼間にも関わらず約40人程度の住民が参加され、約3時間に及ぶ出前講座を熱心に聞いていました。

今後は・・・

地区独自での防災訓練として出水を想定した西階うぐいす区避難訓練を11月26日に計画しており、自主防災組織による地区対策本部の立ち上げ、自主防災組織と要避難支援者とのペアリングによる避難計画や一般区民の避難訓練を実施する予定となっており、今後バックアップや地区防災マップの作成、地区タイムラインの作成に向けて支援していきたいと考えています。



うぐいす区は延岡市の中でも防災意識が高い地区であり、平日にも関わらず地域住民の集まりもよかった。この講話を地域防災マップの作成に役立てたい。